

2. 教職課程「授業担当者打ち合わせ会」記録

名古屋学芸大学 教職課程（事務局 教務課）

I. 日時：2019年9月5日（木）10：00～13：00

場所：名古屋学芸大学 第一会議室

II. 出席状況 16名出席

内訳：学長1名、客員教授1名、非常勤講師5名、専任教員6名、事務職員は事務局部長及び教務課長、教務課長補佐が出席。教務課スタッフ1名が運営事務を担当。

III. プログラム

1. 開会（教職課程 松崎教授が司会進行）
2. 挨拶（学長及び佐藤教職課程主任より）
3. 自己紹介（名簿に基づき、担当する授業科目を中心に自己紹介を行った）
4. 教職課程の方針・概要と質保証、教員採用試験等について（教職課程主任より）
 - ・教職課程認定大学をめぐる中央教育審議会等での議論、今後の動向。
 - ・本学の教職課程の教育方針及び教職課程見直し（2019年度4月10日評議会）への対応。
 - ・今年度教員採用試験合格状況と対策について（「ナブレ」2019年7月号参照）。
 - ・本学の教員免許状更新講習の実施状況と今後に向けて。
 - ・本学の教員採用試験対策（小学校免許の採用試験対策講座「教師塾」、教職・面接・論作文特別講座、教員採用試験対策講座等）の紹介。
5. 「教員の養成の状況」に関わる情報公表について（教職課程主任より）。
 - ・教免法施行規則等の法令義務に対応した大学ウェブサイトでの公表の状況（2019年7月～）。
6. シラバス作成と運用について（教務課長より）
 - ・教職課程の質保証の観点から到達目標、成績評価基準、15回授業実施、試験・レポート等へのフィードバック方法やアクティブ・ラーニング実施方法の記載、授業外学習の学生への具体的指示等
7. 教務関係の事務連絡等（教務課長より）
 - ・今年度後期及び来年度のスケジュール、祝日の授業日等について（学年暦に基づき説明）
8. 2019年度教職課程コアカリキュラムの実践と担当授業科目の運用について
 - ・教職課程コアカリキュラムの現在の課題と意味、医学コアカリキュラムとの比較を踏まえた解釈と今後の活用の観点について（学長より）
 - ・教職課程コアカリキュラムの構造と対応等について（以下事務局部長より）
 - ・今後の教員審査の在り方と教職コアカリキュラムとの整合性等 ・シラバス及び教員業績書の提出等
9. 各授業担当者からの意見と交流（授業改善方法、授業実施状況等）

<主な発言（専任、非常勤とも）>

- ・遅刻者の出欠管理と対応について ・教室における授業中のスマホの充電について
- ・学科、専攻、学年によって学生の反応も違うので学生たちの特徴に合わせた授業が必要である。
- ・グループ学習やディスカッション等、アクティブ・ラーニングを試行錯誤しながら行っている。
- ・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業をするためには固定型でなく移動機の教室環境が望ましい。
- ・人数（多い場合、少ない場合）に応じて授業運営の工夫が必要。
- ・毎授業で学生の授業の「振り返り」や記述をさせる工夫をしている。
- ・（教職に関わる専門性や免許の実質化を図るためには）入学初年次からアカデミックライティングや論理的な記述・レポート作成技術、広義の読書力とともに研究的な思考・態度の育成等の系統的指導が必要。

IV. 所見

- ・本学の教職課程の教育方針や今後の課題等について授業担当者間で共通認識を図ることができた。
- ・教職科目担当に関わる実務家教員（教育現場に精通）の特徴と研究業績的な面での課題、学生の学力差や学習意欲の違い等を踏まえた取り組みや工夫、意見等、多面的な情報交換がなされ有意義な会となった。

V. 配付資料 ・次第、出席者名簿（担当授業科目一覧）、議題資料

以上